

本部OBよりの寄稿

本部同窓会 副会長
桑原 栄治
(昭和50年電気科卒)

昨年、東京秋工会に学生服姿でお邪魔しました同窓会副会長の桑原栄治です。
昭和50年3月、電気科を卒業し、オイルショックの不況の風の中、横浜の電気工事会社が社会人のスタートでした。昭和54年に帰郷し、地元就職後、58年に先輩の38年卒の船木博明さんや47年卒の外山弘三さんのご支援を受けて電気工事業を開業し、現在に至っております。従業員は10人で秋工出身者が私を含め6人おり、ラグビー部OBは3人在職中です。



昨年の<金砂健児の集い>時
学生服姿の桑原氏

私は秋工に昭和47年の4月に入学しました、当時は学帽を被って通学しましたが、先輩達は学帽を鞆の中に入れて通学が当たり前で、もっとも被るような髪型ではありませんでした。肩まである長い髪、リーゼント、パンチ、アフロなんかもありました。その年に秋高が服装の自由化が決定し、我が秋工も廃帽となり私たちの学年が最後の帽子組になりました。

現在、秋田市の中小高校で学帽のあるのは、秋大付属小学校だけだそうです、売っている店もありません。それでも探した結果、ありました。土崎港の中央通り商店街のかがや靴店に、しかし校章がありませんでした。現在も捜索中です。見つけたら、今度は学生服と学帽姿でお邪魔します。

2年生時の一番の思い出は、県民会館で行われた全校生徒の映画鑑賞会でした。当時は1300名ほどの生徒数だったと思います。上映作品は「男はつらいよ」で、マドンナ役は吉永小百合さんでした。みんな大爆笑の連続でそれ以来の寅さんファンです。寅さんの物まねで何度かテレビ番組に出演したこともあります。若気の至りで恥ずかしい限りです。上京のたびに帝釈天参りを楽しんでおります。

さて、新元号、令和の新たな年度の入学式が4月8日に行われました。4月8日は灌仏会、また正岡子規の弟子の四天王の一人、高浜虚子の命日、虚子忌でもあります。四天王の一人に秋田、雄和の石井露月が名を連ねることは秋田県民としては名誉なことです。

入学式では今年度から着任された秋工ラグビー部OBの黒澤光弘校長先生の祝辞に感動いたしました。全校生徒627名を卒業まで見守りますという強い意思表示、母校の校長としての思いをひしひしと

感じ、4月8日が頭にあったせいか、高浜虚子の名句「春風や闘志抱きて丘に立つ」が浮かびました。大変御立派な凛々しいお姿でした。

現在の教育現場では卒業という目標は大変厳しい課題とっております。校長先生や教職員の皆様だけでなく、我々同窓会員も尽力していきたいものです。また黒澤校長は文武両道という言葉も唱えておりました。質実剛健と共に目標、実現して欲しいものです。

黒澤校長先生が秋工在職中にラグビー部が花園で活躍して、いい成績を残したいですね。東京秋工会の皆様、花園で会いましょう。

桑原氏が応援している「大石清美氏」のイラスト



2月



6月



10月



12月



桑原氏が代表を務める
(有)桑原電設の2019年版カレンダー

五城目町役場発行の「広報ごじょうめ」に「なつかしのごじょうめのわらじだ」というコーナーがある。

同コーナーは同町出身の大石清美(おおいし・きよみ)さんの作による、昔なつかしい子どもたちの遊びや地域の風習などが楽しい絵と五城目弁を交えた文により描かれている漫画絵的イラストを前提に展開されているもので、五城目町はもとより県内外から好評を得ている人気コーナー。

作者の大石さんは、現在秋田市河辺町に在住し、自営の印刷業のたわら五城目町広報へのイラスト連載、FM檜台のラジオ番組へのレギュラー出演など幅広く活動されている。

D-KUWAHARA

- 高圧受変電設備 点検・測定・保守
- 自動制御設備 設計・施工
- 電気設備工事
- 各種イベント仮設電源工事

有限会社 桑原電設

〒011-0945 秋田市土崎港西3丁目5-15
TEL (018) 857-0284
FAX (018) 857-3983
携帯 090-8925-0889
E-mail : d-kuwahara@brawn.plala.or.jp

代表取締役 桑原 栄治 (昭和50年電気科卒)